

MULTIPLE PERCUSSION

小出稚子
花街ギミック
2010/2018

北爪道夫
Side by Side
for solo percussion
1987/1989

北爪道夫
Case by Case
for solo percussion
2017

伊藤美由紀
La transparencia
del espacio (I)
2010/2025

山川あをい
UTA(utá) XIII
for marimba
and violoncello
2025

新実徳英
風のかたち
for vibraphone solo
1990

梅本佑利
ときめき☆は～とすろっと
2021

山口恭範
Conundrum
for 9 Tom Toms
1996

TOM TOM

窪田 健志 打楽器リサイタル vol.6

-Percussion Connection with 'Aichi'- 愛知との繋がり

チェロ：遠藤真理

2025
11
MON

17

名古屋公演
19:00開演 18:30開場
ザコンサートホール
名古屋・伏見・電気文化会館
「伏見」駅より徒歩2分



2025
11
TUE

18

東京公演
19:00開演 18:30開場
MUSICASA
「代々木上原」駅より徒歩3分



料金 一般前売 3,500円 学生前売 1,500円
(各当日500円増、未就学児不可。名古屋公演のみ親子室あり)

お問い合わせ 名古屋 バルドン・フィルステージ : 052-485-7491
kubota_perc@yahoo.co.jp 又は teket QRコード

後援 / 愛知県吹奏楽連盟 中部打楽器協会 (公財) 名古屋フィルハーモニー交響楽団 助成 / NOMURA 野村財団 特別協賛 / 医療法人 葵鐘会

MESSAGE

名古屋を拠点とした自主リサイタルを各地で3年毎に開催してきて、今回で6度目となりました。

今年は副題を「愛知との繋がり」として、愛知県と様々な繋がりのある7名の邦人作品を取り上げます。もはやマルチパーカッションの古典ともいえる作品から、ヴィブラフォンを2台使用する作品、電子音響を伴った作品等、それぞれ異なる編成の打楽器独奏の他、山川さんの作品(委嘱初演)と梅本さんの作品では共演にチェリストの遠藤真理さんをお迎えし、マリンバとチェロによる響きを是非会場にて聴いて頂ければ幸いです。

窪田 健志

窪田 健志

くぼた たけし

打楽器



1983年大阪生まれ。長野県上田高校を経て、東京藝術大学卒業後、同大学院修士課程修了。アムステルダム、ワルシャワでも研鑽を積む。

2002年 東京佼成ウインドオーケストラ アジア公演を皮切りに、在学中より様々なオーケストラメンバーとしてシンガポール、チェコ、ドイツなどで演奏。芸大フィル、名古屋フィル、愛知室内オーケストラと協奏曲を共演。

日本管打楽器コンクール第2位。PMF、小澤征爾音楽塾オペラ公演などに参加。

2010年(公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団ティンパニ・打楽器奏者に就任。

現在、首席奏者を務める。

2011年 音楽之友社「バンドジャーナル」ワンポイントレッスン連載。

2013年よりリサイタルを再開し、電気文化会館・東京文化会館・京都青山音楽館でリサイタルを開催。それに伴い、名古屋公演は名古屋市民芸術祭ベスト・アーティスト賞、京都公演は第23回青山音楽賞を受賞。

NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」、東京オペラシティ主催「B→C」等に出演。

2016年にも委嘱初演曲を含むリサイタルを東京・京都、名古屋で行い、名古屋市民芸術祭賞を受賞。

2019年のリサイタルでは2度目の名古屋市民芸術祭賞の他、大阪公演は令和元年度文化庁芸術祭優秀賞を受賞。

2020年ソロCDをオクタヴィア・レコードより発売。レコード芸術誌にて特選盤。

2021年「くぼたの打楽器四重奏団」京都公演が第30回青山音楽賞(バロックザール賞)を受賞。

2022年A.Wit指揮 名古屋フィルと定期演奏会にて協奏曲を共演。大阪ザ・フェニックスホール「エヴォリューション・シリーズ」に採択され、リサイタルを共催。

これまでに北野圭威、有賀誠門、藤本隆文、Marinus Komst の各氏に師事。高田みどり、菅原淳、百瀬和紀、岡田真理子、Maarten den van Vark の各氏に薫陶を受ける。

「くぼたの打楽器四重奏団」主宰。「Distance Percussion Duo!!」「Ensemble NOVA」「U演奏家協会」各メンバー。

菊里高校音楽科、名古屋音楽大学各非常勤講師。松方音楽コンクール、全日本吹奏楽コンクール等の審査員なども務める。

趣味はタップダンスと献血。



遠藤 真理

えんどう まり

チェロ



第72回日本音楽コンクール第1位、2006年「プラハの春」国際コンクール第3位(1位なし)、2008年エンリコ・マイナルディ国際コンクール第2位。2009年齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。

2007年ザルツブルクのモーツァルテウム音楽大学マギスター課程を満場一致の最高点で卒業。アンサンブル金沢、大阪フィル、札幌響、読売日響、都響など国内主要オーケストラに招かれ、小林研一郎、故ゲルハルト・ボッセなど著名指揮者と、またウィーン室内管、プラハ響、ザルツブルク・ゾリステンらと共演するなど、国内外で高い評価を得る。

2017年4月より読売日本交響楽団のソロ・チェロ奏者にも就任。

NHK大河ドラマ「龍馬伝」の「龍馬伝紀行」(第三部)での音楽演奏を担当。エイベックス・クラシックスから同曲が収録された「Cello Melodies 龍馬伝紀行III」や「ドヴォルザーク:チェロ協奏曲」をはじめ4枚のソロ・アルバムと、2019年12月には川久保陽紀(ヴァイオリン)、三浦友理枝(ピアノ)とのトリオ・アルバム「ショスタコーヴィッチ:ピアノ三重奏曲第1番、第2番」「ピアノ三重奏 坂本龍一曲集」が同時発売され、トリオ・アルバムも3枚リリースされている。

2012年より8年間NHK-FMのクラシック音楽番組「きらくら!」(全国放送)のパーソナリティを務めるなどテレビ、ラジオでも幅広く活躍している。



©Yusuke Matsuyama